

令和4年度 第4回 伊勢市男女共同参画審議会 会議概要

日 時 令和5年1月19日(木) 13:30~14:30

場 所 伊勢市役所東館4階4-4会議室

出席者(敬称略)

|        |       |        |       |
|--------|-------|--------|-------|
| 山本 智子  | 山川 一子 | 下野 功純  | 秋山 則子 |
| 奥野 時明  | 池山 文佳 | 竹内 千恵子 | 中村 弥生 |
| 早川 千奈美 | 中村 尚美 | 杉本 公紀  | 赤坂 知之 |
| 長田 伊央  |       |        |       |

事務局 環境生活部参事 浦井 由紀恵  
市民交流課副参事 日置 純子  
市民交流課 大野 明子

委託業者(株式会社 総合環境計画)

傍聴人 なし

内容

- 1 開会
  - (1) 会長あいさつ
- 2 第4次伊勢市男女共同参画基本計画(れいんぼうプラン)案について
  - (1) パブリック・コメントの結果について
  - (2) 案の修正箇所について
- 3 その他
- 4 閉会

○発言内容

1 開会

会長あいさつ

2 第4次伊勢市男女共同参画基本計画（れいんぼうプラン）案について

**説明**

事務局より、資料1「第4次伊勢市男女共同参画基本計画（案）パブリック・コメント結果及び修正箇所について」、資料2「第4次伊勢市男女共同参画基本計画（れいんぼうプラン）（案）」について説明した。

**意見及び質問**

委員 資料1の6ページ、資料2の26ページの文章について、「女性は子どもができたら一旦離職した方がよいと回答する割合は依然として高く」とあるが、この意見は男性のものなのか、女性のものなのか。男女どちらの意見か、分かるなら書いた方がよい。

委員 男女が分かるなら詳しく例示してはどうか。

事務局 資料2の29ページに男女別アンケート結果を示しており、これを解説したのが先程の文章になる。子どもができたら一旦離職した方がよいという意見は男女ともに多い傾向にある。

委員 承知した。男性だけでなく女性もそのように思っているため進まないのではないかと思った。

委員 様々な資料を見ると、女性が家庭に入ることによって社会から断絶されるように感じるため、子どもができて社会とのつながりのために就労するという意見が多い。男性側からは女性は家庭に入ってほしいという意見が多いが、男性だけがそういう認識ではないということだと思う。

委員 会社でも、女性への社会的支援が無く継続困難な状況があるため、家庭に入って子育てに専念した方がよいという思いを持つ女性もいる。地域差や財政の関係などはあるが、今後の働き方改革の施策の中で方向性が見えてくると思うので、少し期待しつつ見ているところである。女性が諦めずに社会に出ていけるような働き方の改革の中で、従来のステレオタイプではない、柔軟に働くための支援があれば働きたい、社会と繋がりたいという意識は強いと思う。

委員 こども家庭庁ができるが、当初こども庁という名前で考えられていたものが、こども家庭庁という名称になった。その名称では、子どもを家庭に付随するものと見てしまうことになり、結局女性に押し付けるのか、変わらないのではないかという気がして残念に思う。子育ての大変さの前に子どもを持つことをあ

- きらめる気持ちになる女性もいると思う。子育て支援のお金が少ない。支援が増えれば女性も働きやすいようになると思う。
- 委員 近年テレワークが増加し、男女ともに家で働く人が増えているが、コロナ後もそうした形態の働き方を継続するという企業も多い。現場作業は海外に流れ、日本の企業形態として事務作業的な働き方が増えていることもある。出勤を要さないため就業要件に住居を定めない企業もあり、そのような働き方を推進する会社は増える傾向にある。そうなる、仕事をするのと家庭にいることの差が曖昧になってくる。これまでは保育所に預けないと仕事に行けなかったが、これからは家で子どもを見られる、そうした視点も必要ではないか。
- 委員 資料1の3ページ、一番上の「市の考え」のところで、「女性に対する暴力をなくす運動」期間とあるが、その期間は一週間か。期間が分かるようにしてはどうか。
- 事務局 「女性に対する暴力をなくす運動」期間は、毎年11月12日から25日の2週間となっている。期間中は、市役所の市民ホールで展示をしたり、広報誌に掲載したりしている。計画書にも具体的な期間を記載した方がよいか。
- 会長 計画期間が5年ある中で、運動の期間が変更になる可能性もある。
- 委員 11月だけでも書いてはどうか。
- 委員 資料1の1ページの一番下に、用語解説（星印）の説明があるが、目次を見ると、既に星印がついている。用語解説についての説明を掲載する場所が遅いのではないか。
- 事務局 目次の星印を残すなら目次の下に書くこともできるが、目次の星印を消すこともできる。
- 委員 用語集が前にあると、このような言葉が本編に出てくるのかと事前に分かって、斬新だと思う。
- 委員 SDGsの用語に星印がついているが、近年、報道などでも毎日のようにSDGsの話題が出ている。それでもまだSDGsの説明は必要か。少なくとも目次の星印は削除してよいのではないか。
- 事務局 そういう状況もあるが、省略している用語でもあるので、用語解説はあった方がよいと考えている。目次の星印は削除し、本編に星印を入れるということではどうか。
- 会長 目次の星印は削除することで対応いただいてよいか。
- 委員 よいと思う。
- 委員 資料1の3ページ、資料2の56ページの支援相談窓口に関する意見は、子どもに対して支援・相談窓口があることを教える必要があるという意見だが、回答は、大人向けの情報発信について述べている。子どもについても回答してはどうか。
- 会長 既に教育現場では周知が行われているのではないか。
- 委員 学校では、保健の授業において発達段階に応じてそういった事を子どもたちに教えている。

委員 子どもへの対応について、現場で実施されていることを回答に記載してはどうか。

会長 パブリック・コメントでの意見に対する市の考えの部分を修正することは可能か。学校現場で既に取り組んでいることを今後も継続していくという一文を記載するという形で、資料1を修正していただくようお願いする。

委員 これは誰に対して発信するのか。学校のことは保護者は知っており、学校教育での情報発信といった細かいことを答える必要はないのではないか。

委員 子どもは被害に遭っても声を上げることができない。子どもが被害を受けた際の対応について問われているのだから、回答する必要はあると思う。

会長 パブリック・コメントの回答の変更案については、事務局で検討し、メールで委員に送付するということがよいか。

委員 パブリック・コメントの意見を見ると、ポイントは資料2の58ページ、計画の推進に関するところのように思う。市民は市役所が何をしているか分かっていない。議事録の公開や審議会の公開に関しても知らないし、ホームページも見ていないので、このように書いているのだと思う。こうした状況があるにも関わらず、計画書の修正を行わないのか。市民への広報の在り方について付け加えてはどうか。基本計画に入れるのが難しければ、パブリック・コメントの回答で、違う方法を提案してほしいと思う。市のホームページも、市役所全体だけでなく、部所別の閲覧数カウンターをつけるなどして、何人見てくれたかを調べ、市民に見てもらおう工夫をする必要がある。広報誌にも、市民交流課のやっている事をきちんと掲載すべきである。どうやったらホームページを見てもらえるのか、市のやっていることを市民に分かってもらえるのかを考えることが重要である。審議会の情報も、今は市のホームページの各課のページに載っているだけで分かりにくいので、今月どのような審議会を開催するのか、表として整理し、そこに議事録についても記載すれば分かりやすく、周知しやすいと思う。

会長 伊勢市全体の取組になるので、意見を参考にして別途検討いただきたい。

事務局 庁内で検討したいと思う。

委員 資料1の7ページ、資料2の46ページのグラフ中の文言について、「近所との付き合い」とあるが、近所という言葉は漠然としていてイメージがしにくい。

会長 アンケート実施時の表現であるため、今後のアンケート実施時に検討いただければと思う。

委員 前回審議会の素案と比べて、改善されたと思う。計画案はこれでよいのではないか。

会長 では、原案のとおりで答申してよいか、採決したいと思う。賛

成の方は挙手をいただきたい。

(全員挙手)

会長 賛成多数により、原案通りとして答申とすることとする。

### 3 その他

浦井参事あいさつ

〈閉会〉